

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

水域環境の保全を図りながら、水産資源の適切な管理や競争力のある養殖業の確立とともに、多様な担い手の確保や水産業者等の経営力の強化などにより、水産業が安定的に継続されることで、県民の皆さんの多様なニーズに応える水産物が供給されています。

| 主指標 | | | | | | |
|----------------------|--|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|
| 目標項目 | 令和元年度 | 2年度 | | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 漁業産出額 | | 51,253 百万円 (元年) | | 51,868 百万円 (2年) | | 53,147 百万円 (4年) |
| | 44,596 百万円 (30年) | | | | | |
| 目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方 | | | | | | |
| 目標項目 の説明 | 海面漁業（養殖を含む）の産出額 | | | | | |
| 3年度目標値 の考え方 | 魚類養殖の構造改革や経営体の法人化の促進等により、養殖業を成長産業化することで、海面漁業（養殖を含む）の産出額を現状値から増加させることをめざし、目標値を設定しました。 | | | | | |

| 副指標 | | | | | | |
|--|----------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|
| 目標項目 | 令和元年度 | 2年度 | | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 「浜の活力再生 プラン」策定地 区における漁業 所得の増加率 | | 102 (元年度) | | 104 (2年度) | | 108 (4年度) |
| | 100 (30年度) | | | | | |
| 沿岸水産資源の 資源評価対象種 の漁獲量に占め る割合 | | 34.0% (元年) | | 42.0% (2年) | | 58.0% (4年) |
| | 25.5% (30年) | | | | | |
| 拠点漁港におけ る耐震・耐津波 対策を実施した 施設の整備延長 (累計) | | 566m | | 616m | | 716m |
| | 493m | | | | | |

現状と課題

- ①「三重県水産業及び漁村の振興に関する条例」に基づき、「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の策定に取り組みました。今後も、水産業及び漁村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく必要があります。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業経営の維持・安定に向けて、相談窓口の設置や漁業経営維持安定資金の融資枠の拡大などに取り組むとともに、県産水産物の在庫解消に係る支援として、国や市町が実施する消費喚起キャンペーンの登録飲食店等における県産水産物の販売促進や、新たな販路開拓に向けた加工機器のリース支援、県産水産物を学校給食へ提供する取組を進めています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人技能実習生の確保が難しい経営体の人材確保等の取組への支援に加え、水産物産地卸売市場における衛生管理の向上に係る施設改修等への支援を行っています。引き続き、制度資金を活用した資金繰り対策等に取り組んでいく必要があります。
- ③水産資源の維持及び増大に向けて、本県の重要沿岸資源14種（うち新規7種）についての科学的知見をふまえた資源評価を実施するとともに、重要魚種の種苗生産や放流など栽培漁業の推進、漁業者による資源管理計画の策定への支援（4計画策定済み）に取り組んでいます。また、漁業秩序の維持のため、関係漁協と連携して貝類等の密漁を対象としたパトロールを実施しました。さらに、海女による豊かな海づくりをめざして、ドローン等を活用した藻場情報を見える化する仕組みづくり等に取り組んでいます。引き続き、科学的知見をふまえた資源管理の推進や栽培漁業の推進、地元漁業者と連携した密漁対策、海女をはじめ漁業者が主体的に取り組む資源管理の促進に取り組んでいく必要があります。
- ④競争力のある養殖業の構築に向けて、魚類養殖について、完全自動型給餌システムの開発試験などAI・ICT等を活用した養殖作業の効率化や生産管理の標準化などのスマート化を促進しています。また、8月下旬からマハタのへい死が確認され、夏場の高水温による衰弱に伴う疾病が原因と考えられており、被害の拡大防止のため飼育管理の徹底を指導しています。藻類養殖については、海況に適応したノリの適正養殖管理技術の開発等の取組として、栄養塩が少ない環境下でも色落ちしにくい黒ノリ品種の開発などを進めています。真珠養殖については、6月に海水温の上昇等によりへい死が確認されたことから、学識経験者や養殖業者等で構成する真珠養殖対策会議を設置するとともに、へい死等の原因究明や拡大防止に向けた対策に取り組んでいます。引き続き、養殖業のスマート化の促進や、高水温などの海況の変化に適応した養殖業の実現を図るとともに、三重県真珠振興計画等に掲げた真珠の生産性・品質向上、国内外への魅力発信の取組を着実に進めていく必要があります。
- ⑤多様な担い手の確保及び育成に向けて、9月に志摩市で開催されたみえ真珠塾の短期研修などを支援するとともに、協業化・法人化を検討する漁家への専門家の派遣、事業承継にかかる相談窓口を漁協に設置するなど「居ぬき」の物件をあつせんする仕組みづくり、ロボット技術や省力化機器の導入等による高齢者等が長く安全に働ける環境づくり等に取り組んでいます。引き続き、漁師塾等に参加する就業希望者が、地域の漁業に円滑に着業・定着できるよう支援するとともに、協業化や法人化を促進し、安定した経営基盤を有する多様な担い手の雇用の受け皿の確保を図っていく必要があります。
- ⑥安定した経営体の育成に向けて、制度資金の融資を通じて、操業の効率化など所得向上につながる漁船や省力・省コスト化に資する機器等の導入を促進しています。引き続き、所得向上につながる漁船等の導入を支援するとともに、漁業共済や漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進していく必要があります。

- ⑦県産水産物の競争力の強化に向けて、9月に海外バイヤーとの商談機会を創出するため、東京シーフードショーに出展し、活ガキなど県産水産物の輸出に向けたPR等を実施しました。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している水産物輸出の商流のつなぎ直し等、関係機関と連携し、デジタル技術も活用しながら、アジア経済圏において県産水産物の販路拡大をめざす輸出事業者の営業活動支援に取り組み、恒常的な輸出につなげる必要があります。
- ⑧災害に強く生産性が高い水産基盤の整備に向けて、錦漁港での耐津波防波堤の整備や白塚漁港における水産業BCPの策定に取り組みとともに、老朽化の進んだ施設について、長寿命化に向けた補修工事を進めています。また、水産業の生産性を高めるため、鳥羽市での黒ノリ共同加工施設、紀北町、御浜町および紀宝町での築いそ整備への支援を行っています。水産動植物の生育環境の保全、改善および創造に向けては、生息場保全のため熊野灘等での藻場造成や伊勢湾での干潟造成に取り組みとともに、活動組織が行う藻場・干潟等の保全など水産多面的機能の発揮に向けた支援を行っています。引き続き、防災・減災対策のための漁港の機能強化および計画的な保全工事を進めるとともに、関係漁業協同組合等と連携し、共同利用施設等の整備を進める必要があります。
- ⑨活力ある漁村の構築に向けて、浜プラン（松阪地区、南島地区）や広域浜プラン（黒ノリ、魚類養殖、漁船漁業）について、第2期プランの策定を支援しており、内水面域の活性化に向けては、稚アユ放流やカワウ駆除など内水面資源の保全、ヨシ帯の保全や河川の清掃活動など漁場環境・生態系の維持・回復への支援を行っています。引き続き、浜プラン等の策定、内水面資源の保全・活用などを支援していく必要があります。

令和3年度の取組方向

- ①「水産王国みえ」の復活とさらなる発展に向けて、「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」に掲げる、「水産資源の維持及び増大と競争力のある養殖業の構築」、「多様な担い手の確保及び育成と経営力の強化」、「災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築」等の施策を総合的かつ計画的に推進します。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業経営の回復に向けて、制度資金の融資を通じ、水産業者等の漁船や種苗の導入等を促進するとともに、新型コロナウイルス感染症の収束も見据えた、水産業者による6次産業化等による高付加価値化などの取組を促進します。
- ③水産資源の維持・増大に向けて、科学的知見をふまえた資源管理を推進するとともに、重要魚種の種苗生産や放流など効果的な栽培漁業の推進、地元漁業者等と連携した密漁防止対策等に取り組みます。また、海女による藻場の効果的な管理やアワビの増養殖の取組を支援します。
- ④競争力のある養殖業の構築に向けて、魚類養殖については、完全自動型給餌システムや疾病の早期発見システムの養殖漁場での実証試験に取り組みとともに、生産コストの削減や高品質化、マダイに依存した生産体制からの脱却など、魚類養殖の構造改革を促進します。また、疾病被害の軽減に向けたワクチンの2回接種に係る実証試験や高水温に耐性のある種苗の開発などマハタのへい死対策に取り組みます。藻類養殖について、ICTブイから得られたリアルタイムの水温情報や他の海域情報を発信できるプラットフォームの整備を進めるとともに、色落ちしにくい黒ノリ品種の養殖漁場での実証試験や普及を進めるなど、貧栄養化への対応等に取り組みます。真珠養殖については、AI・ICT等を活用した環境予測情報の提供のための技術開発、中間育成による大型稚貝の生産などアコヤガイのへい死を防止するための中長期的な対策を進めるとともに、非対面、非接触で県産真珠の魅力を配信できるオンラインPRの取組を支援するなど三重県真珠振興計画に掲げた国内外への真珠の魅力の情報発信に取り組みます。

- ⑤多様な担い手の確保および育成に向けて、都市の若者等を本県の漁業に呼び込むオンラインによる仕組みづくりや漁業経営体の協業化・法人化を進めるとともに、引き続き、漁師塾や真珠塾の運営および開催への支援、ロボット技術を活用した省力化等により高齢者や女性など多様な担い手がライフステージ等にあわせて活躍できる環境づくり、事業承継の仕組みづくり等に取り組みます。
- ⑥安定した経営体の育成に向けて、漁業共済や漁業経営セーフティーネット構築事業へのさらなる加入を促進するとともに、制度資金の融資を通じて、個人経営体をはじめとする漁業経営体の操業の効率化など所得向上につながる漁船や省力・省コスト化に資する機器等の導入を促進します。
- ⑦県産水産物の競争力の強化に向けて、デジタル技術も活用し、アジア経済圏において県産水産物の輸出の拡大をめざす輸出業者が取り組む商流のつなぎ直しや、新たな輸出先国および需要ニーズの掘り起こしなどを支援するとともに、首都圏等への県産水産物の販売促進、食品衛生法の改正に伴う、HACCPに沿った衛生管理の取組の促進、水産エコラベル認証の取得の促進に取り組みます。また、新しい生活様式をふまえた海女の漁獲物の魅力向上の取組を支援するとともに、2021年の第9回太平洋・島サミットの開催（志摩市）を契機に、日本農業遺産の認定による知名度も生かしながら、海女漁業、真珠等の魅力を国内外に発信し、知名度向上と需要拡大を図ります。
- ⑧災害に強く生産性が高い水産基盤の整備に向けて、漁港施設および海岸保全施設の地震や津波、高潮等への対策、水産業BCPの策定、予防保全が必要な施設の計画的な補修・補強、漁場の環境改善、多面的機能の発揮、漁協等が行う共同利用施設等の整備への支援等に取り組みます。
- ⑨活力ある漁村の構築に向けて、「浜の活力再生プラン」等の策定・実践に取り組む漁業者等を支援するとともに、内水面地域の活性化に向けて、内水面資源の保全や漁場環境・生態系の維持・回復に資する取組への支援等を行います。

主な事業

①ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 3,849千円 → (R3) 2,717千円

事業概要：資源や漁業の専門家（三重大学等）による資源評価委員会を開催し、科学的根拠に基づく精度の高い資源評価をナマコやマダコなど沿岸資源6魚種（令和3年度までの評価魚種20魚種）で実施するとともに、資源評価結果や適切な管理方策を漁業者に提供し、資源管理協定の策定を支援します。

②海女による豊かな海づくり事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 4,438千円 → (R3) 2,928千円

事業概要：「海女による豊かな海づくり」のため、関係機関と連携し、海女による藻場の管理の仕組みづくり、海の環境変化に対応したアワビ種苗生産の検討、海女によるアワビ養殖の検討、サステイナブルな海女漁業の魅力発信に取り組みます。

③漁業取締事業【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 25,163千円 → (R3) 25,163千円

事業概要：漁業秩序を維持するため、関係機関と連携しながら、漁業取締業務を実施するとともに、漁業取締船の機能の維持管理を行います。

④(新)法人化に向けた魚類養殖業の構造改革促進事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 18,500千円

事業概要：魚類養殖業の構造改革に向け、新技術の導入による生産性の向上や、リスクヘッジに向けた新魚種の導入などを進めるとともに、新規就業者の受け皿となる魚類養殖の法人化に取り組みます。また、疾病被害の軽減に向けたワクチンの2回接種に係る実証試験などマハタのへい死対策に取り組みます。

⑤魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 1,800千円 → (R3) 1,330千円

事業概要：県内魚類養殖業の競争力強化や働き方改革の促進のため、AI・ICTを活用して養殖魚(マダイ等)の給餌・遊泳行動パターンを解析し、小規模経営体が導入可能な完全自動給餌システムの開発などに取り組みます。

⑥次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 4,771千円 → (R3) 3,155千円

事業概要：伊勢湾地区の冬季の基幹産業であるノリ養殖業の収益の向上と生産の安定化に向け、ICTセンサーによる水温データなど各種海況情報をクラウド上に集約し、養殖業者に配信するプラットフォームを構築するとともに、その情報を活用したノリ適正養殖管理技術の開発を行います。

⑦真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 5,994千円 → (R3) 4,464千円

事業概要：高度な技術と経験が必要である真珠養殖業について、優秀な養殖業者の養殖技術の見える化およびICT等を活用したスマート化や環境予測技術の開発、導入など優良技術の継承や真珠の生産性向上のための技術開発に取り組みます。

⑧環境調和型真珠養殖システム構築事業

【基本事業名：31401 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】

予算額：(R2) 2,703千円 → (R3) 1,996千円

事業概要：環境と調和した真珠養殖システムの構築に向けて、真珠養殖廃棄物の堆肥化(コンポスト)技術の開発や、アコヤガイの大量へい死の原因究明と対策に取り組みます。また、構築した真珠養殖システムで生産した真珠を海外でPRし、環境と調和したサステナブルでエシカルな真珠のブランドイメージ構築を支援します。

- ⑨(新)地域水産業担い手確保事業【基本事業名：31402 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】
予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 8,000千円
事業概要：オンライン漁師育成機関を構築、運営し、既存の漁師塾を補完することで、都市部の若者等の三重県の漁業への円滑な着業・定着を支援するとともに、今後、漁業の法人化等に率先して取り組む若手・中堅漁業者の育成を進めます。
- ⑩「ユニバーサル水産業」による持続可能な漁村構築事業
【基本事業名：31402 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】
予算額：(R2) 3,480千円 → (R3) 2,595千円
事業概要：高齢者や女性などの多様な担い手が、ライフステージやライフスタイルに合わせて、水産業に関わる「ユニバーサル水産業」の実現に向けて、ロボット技術を活用した省力化等の効果を評価・検証し、ノウハウの蓄積、利用推進に向けた情報発信等に取り組みます。
- ⑪漁業近代化資金融通事業【基本事業名：31402 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】
予算額：(R2) 70,086千円 → (R3) 87,176千円
事業概要：漁業者の経営改善を図るために必要となる設備・運転資金等の融資を円滑にするため、利子補給措置等を講じます。また、新型コロナウイルス感染症、アコヤガイやマハタのへい死の影響を受けた養殖業者等が融資を受ける際に、融資機関等に対して無利子化等の助成を市町と連携して行います。
- ⑫アジア経済圏等に向けた県産水産物輸出促進事業
【基本事業名：31402 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】
予算額：(R2) 2,670千円 → (R3) 1,868千円
事業概要：県産水産物の競争力の強化に向け、水産物需要の高まっているアジア経済圏等を対象に、競争力のある県産水産物の輸出を戦略的に展開していきます。
- ⑬(新)太平洋・島サミット三重の真珠・水産業魅力発信事業
【基本事業名：31402 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】
予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 2,225千円
事業概要：第9回太平洋・島サミット(志摩市)の地元プログラムにおいて、本県水産業や県産水産物の魅力を国内外に発信することで、県産水産物の知名度向上と需要拡大につなげていきます。
- ⑭県営水産生産基盤整備事業
【基本事業名：31403 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】
予算額：(R2) 851,500千円 → (R3) 803,750千円
事業概要：水産物の生産機能の強化および防災・減災対策を図るため、耐津波防波堤等の整備を実施します。

⑮海女漁業等環境基盤整備事業

【基本事業名：31403 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】

予算額：(R2) 467,100千円 → (R3) 488,700千円

事業概要：沿岸海域において、海女漁業等の漁業生産力の向上や水質浄化機能の回復、水産資源の生息場の環境改善を図るため、藻場造成に取り組みます。

⑯(新)内水面水産資源の回復促進事業

【基本事業名：31403 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 20,000千円

事業概要：内水面水産資源の回復に向けて、ドローン等を活用した少労力かつ効率的なカワウ被害軽減対策を重点的に支援するとともに、稚アユ放流経費の一部を支援します。